

■ 本文

これも今は昔、比叡（ひえ）の山に児（ちご）ありけり〔①〕。僧たち、宵（よひ）のつれづれに、「いざ、かいもちひ〔②〕せむ。」と言ひけるを、この児、心寄せに聞きけり。さりとして、し出ださむを待ちて寝ざらむもわろかりなむ〔③〕と思ひて、片方（かたかた）に寄りて、寝たるよしにて、出で来るを待ちけるに、すでにし出だしたるさまにて、ひしめき合ひたり。

この児、定めておどろかさむずらむと、待ちみたるに、僧の、「もの申し候はむ。おどろかせ給へ。」と言ふを、うれしとは思へども、ただ一度にいらへむ〔④〕も、待ちけるかともぞ思ふ〔⑤〕とて、いま一声呼ばれていらへむと、念じて〔⑥〕寝たるほどに、「や、な起こし奉りそ。幼き人は、寝入り給ひにけり。」と言ふ声のしければ、あな、わびしと思ひて、いま一度起こせかすと、思ひ寝に聞けば、ひしひしと、ただ食ひに食ふ音のしければ、ずちなくて、無期（むご）ののちに、「えい〔⑦〕。」といらへたりければ、僧たち笑ふこと限りなし。

■ 設問（全22問）

- 傍線部①「ありけり」の「けり」は、どのような意味・用法の助動詞か。文法的に説明しなさい。
- 僧たちが「かいもちひ」を作ろうとしたのはなぜか。本文中の言葉（古語）を一つあげ、その意味もそえて説明しなさい。
- 傍線部②「かいもちひ」とは何か。現代の言葉で答えなさい。
- 傍線部③「し出ださむを待ちて寝ざらむもわろかりなむ」を現代語訳しなさい。
- 傍線部③の「わろし」の意味を答えなさい。また、「あし（悪し）」との意味のちがいを簡単に説明しなさい。
- 傍線部③「わろかりなむ」の「なむ」を文法的に説明しなさい（何+何の組み合わせか、どう訳すか）。
- 「定めておどろかさむずらむと、待ちみたるに」を現代語訳しなさい。なお「おどろかす」は「(眠っている人を)起こす」の意味である。
- 僧の言葉「もの申し候はむ。おどろかせ給へ。」を現代語訳しなさい。
- 傍線部④「いらへむ」の「む」は、どのような意味・用法か。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。ア 推量 イ 意志 ウ 勧誘 エ 婉曲
- 傍線部⑤「待ちけるかともぞ思ふ」で、文末が終止形「思ふ」ではなく連体形「思ふ」になっているのはなぜか。係り結びの観点から、はたらいっている係助詞を示して説明しなさい。
- 傍線部⑤「待ちけるかともぞ思ふ」には、児のどのような気持ちがこめられているか。現代語でわかりやすく説明しなさい。
- 傍線部⑥「念じて」の、ここでの意味を答えなさい。
- 本文末ちかくの「寝入り給ひにけり」の「けり」には、僧のどのような気持ちがこめられているか。①の「けり」とのちがいにふれて説明しなさい。

14. 「あな、わびし」の「わびし」の意味を答えなさい。また、児がこのとき「わびし」と思ったのは、どのようなことが分かったからか。
15. 傍線部⑦「えい」とは、誰の、どのような言葉か。そして、なぜ「僧たち笑ふこと限りなし」となったのか、あわせて説明しなさい。
16. 【文学史】この『児のそら寝』が収められている作品名を、漢字で答えなさい。
17. 本文の「かいもちひせむ」の「せむ」を、二つの単語に分け、それぞれの文法的な名前（品詞・助動詞名）を答えなさい。
18. 【文法】古文では、自分の願望（～したい）を表すのに終助詞「ばや」を使う。「いざ、見ばや。」を現代語訳しなさい。
19. 【文法】係り結びの法則で、文末を**連体形**で結ぶ係助詞をすべて答えなさい。
20. 児は、僧に一度目に呼ばれたとき、すぐには返事をしなかった。それはなぜか。理由を説明しなさい。
21. この話の中で、児の心情は「①ぼたもちへの**期待** → ②（ A ） → ③（ B ）」と移り変わっていく。空欄AとBに入る心情を、本文の展開に沿って現代語で答えなさい。
22. 【文学史】『宇治拾遺物語』について、(1) どのような種類の作品か（ジャンル）、(2) 成立したのはおよそ何時代か、を答えなさい。